

事業所名 グループホーム六じょうや

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和1年8月22日（木）14時00分～15時00分	
参加者	議題
利用者 8名	1 六じょうや基本理念・目指す場所
利用者家族 4名	2 入居者情報
地域住民の代表者 0名	3 利用者の医療看護の状況
市職員 1名	4 行事報告 実績写真添付
地域包括支援センター職員 1名	5 事故報告
事業所 4名	6 身体拘束廃止委員会
	7 今後の事業計画
会議録	
<p>1 上記の議題について資料を基に施設職員が各自発表を行った。その後参加者全員の方に質問や感想を頂き、お答えした。</p> <p>2 入居者要介護度の状況、平均年齢、平均介護度、年齢別介護度、面会者数などについて前回との変化を発表した。</p> <p>3 入居者の医療看護の状況（R1. 6. 26～R1. 8. 22の期間） 〔利用者の転帰状況〕 〔入居者の看護、介護の状況〕 〔利用者の健康教室開催状況〕 講師矢萩看護師 ・ 7月一体調不良者が多かったため中止 ・ 8月一夏の感染症と流行病（100日咳など） 入居者参加と職員参加で一緒に勉強しています。（毎回25人程参加） 〔健康管理総括〕</p> <p>4 主な行事報告 ・ 7月7日 七夕祭り ・ 7月27日 土用丑の日（うなぎ） ・ 8月15日 夏祭り（台風10号来る） 各行事の楽しさを説明し、写真を添付してご家族にも知って頂きました。 2階の有料老人ホームの方々と合同で行うイベントも多々あります。</p>	

6 身体拘束廃止委員会—事例を元に検討した。

7 今後の事業計画

- 設備について
- 職員の定着について
- 外出行事について
- 今後の主な行事について
 - 9月16日 敬老会 12時～
 - 10月11日 六じょうや大運動会 14時～
- 入居者状況
- 次回運営推進会議 2019年10月24日

〔皆さんの質問や感想〕

身体拘束廃止委員会での発言—事例検討で意見を求めた

(瀬戸市職員)

- ケースについては仕方ないこともあるため、絶対悪いとは言い切れないがなぜそうなつのか検討して、一時的に行い、定期的に検討する必要がある。

(地域包括支援センター職員)

- よく研修や勉強会をやっていると思う。
了解や同意を得ても、本人にとっては苦痛だと思う。

(家族)

- 事例をみて夜間は方ないと思った。
- 病院だと雰囲気が違うから暴れたりして拘束が必要になってしまう。
(等々)

(施設側)

- 職員—可哀そうなので、やりたくないと思っています。
- 拘束する前に、なぜそのような行動をとるのかを分析して、その行動自体をなくせるような介護を行っていくことが大切だと思っています。
(等々)

※ご家族や、地域の方の会議への参加を促すようにしていく。